



2022年5月

## AIPPI News

---



### 2022年 AIPPI Young Member サミット (オンライン)

Debbie David - Chairperson of the YAC

AIPPI が創立 125 周年を迎えたこの 2022 年に、世界中の若い世代の AIPPI 会員を対象とした初めての Young Member サミットをオンラインで開催することになりました。6 月 23 日 (木) に半日のイベントとして行う予定です。

[続きを読む](#)

## ハイライト

---

### ベルギーで開催された AIPPI 創立 125 周年記念の行事

Simone Vandewynckel, Fernand de Visscher and Domien Op de Beeck

1897 年 5 月 8 日に、ブリュッセルで AIPPI 設立総会が執り行われてから 125 年。この記念すべき年の始まりとなる 5 月 13 日のブリュッセルにおけるハイブリッド会議を、ベルギー部会の主催で行うことができ光栄です。



[続きを読む](#)

## 法制度・事例解説

---

## ブラジル：実施料の外国送金に関する改正

**José Roberto de Almeida Junior and Isabela de Sena Passau Alves - Mattos Filho**  
**Advogados, Brazil**



2021年12月29日に可決された法律第14,286号は、外国為替に関する重要な改革を定めるもので、為替市場、外国資本、ブラジル中央銀行（BACEN）への情報提供などが対象となります。同法は2022年12月30日に施行されるため、ブラジルで事業を行う企業は、関連する改正内容について知っておく必要があります。

[続きを読む](#)

## 中国：知識産権法廷（最高人民法院）3年間の総括と改革の展望

**Richard X. LI - China Patent Agent (H.K.) Ltd., China**



「判決に不服の場合は、上訴理由書を原裁判所に提出して、最高人民法院へ上訴することができる」 - 中国ではこの3年間、特許事件の当事者や弁護士が、最高人民法院に出廷することが、以前に比べてはるかに多くなりました。

[続きを読む](#)

## France.com 事件：「フランス」の商標とドメイン名に対する国家の優先権

**Tougane Loumeau, avocat - Taliens, France**

2022年4月6日、フランス最高裁（破毀院）は、Frydman氏が経営するFrance.com社と長年にわたって争ってきたフランス共和国の主張を支持する判決を言い渡しました。Frydman氏は1994年に登録されたドメイン名「france.com」の所有者であり、2009年と2010年に登録された複数の「France.com」商標（言語要素と図形要素からなる、フランス本土の輪郭をモチーフとした商標等）も所有していました。

[続きを読む](#)

## 日本：ハッシュタグの使用が商標侵害になる場合

阿部井窪片山法律事務所 江幡奈歩

大阪地裁は、原告のブランド名をハッシュタグとして使用することが、商標侵害になるという判断を示しました。令和3年9月27日大阪地裁判決(#シャルマントサック事件、Wisteria Kyoto v. P1、[令和2年\(ワ\)第8061号](#) (日本語)) を参照。

[続きを読む](#)

## ウクライナ知財庁における知財案件の期限に関する重要な通知

Slobodan Petošević - PETOŠEVIĆ, Luxembourg

戒厳令が敷かれている間、ウクライナ知財庁において期間の徒過がどのように扱われるかについて、現時点で確実なことは言えませんが、戒厳令下で（このほど可決され、まもなく署名、公布される）知的財産所有者の利益保護に関する新たな法律の施行が待たれており、本稿では、いくつかの重要な点に注目してみたいと思います。

[続きを読む](#)

## 各国部会

---

### フランス、ドイツ、ポーランドの3部会によるセミナー

Laurence Loumes - Plasseraud IP, France

フランス部会、ドイツ部会、ポーランド部会の伝統的な枠組みによる知的財産セミナーを、4月21日と22日にミュンヘンにおいて、ようやく対面で開催することができました。



[続きを読む](#)

### 日本部会：英文ジャーナル『A.I.P.P.I.』最新号 (Vol 47, No.2)

AIPPI JAPAN 阿部正俊

日本部会の英文ジャーナル『A.I.P.P.I.』の最新号 ([Vol 47, No.2](#)) が、お読みいただけるようになりました。今号の目次を載せたのでご覧ください。

日本部会では、我が国の知的財産制度に関する情報を海外へ発信するため、英文の隔月誌『A.I.P.P.I.』を 1965 年より発行してきました。

AIPPI 会員であれば、各号のすべての内容をオンラインで閲覧可能です（ダウンロードや印刷はできません）。世界中の多くの会員の皆様に興味を持っていただければ幸いです。バックナンバーも、AIPPI ウェブサイトの会員ページでお読みいただけます。

A.I.P.P.I.	
Bimonthly Journal of International Association for the Protection of Intellectual Property of Japan (AIPPI JAPAN) Vol. 47 No. 2 2022	
<b>CONTENTS</b>	
<b>ARTICLES</b>	
Trademark Registration of Personal Name - Current Situation in Japan and Conditions in Foreign Countries - By NISHIMURA Masako .....	71
Creative Difficulty Requirement for Design Filed in JAPAN By MIZUNO Minako, KAWASAKI Noriko, William H. Morgan .....	93
<b>IP CASE SUMMARIES</b> By AIPPI · JAPAN .....	110
<b>FAMOUS TRADEMARKS IN JAPAN</b> .....	124
<b>ADVERTISEMENTS</b> .....	125
<b>LIST OF CONTRIBUTORS</b> .....	130
<b>LIST OF ADVERTISERS</b> .....	130

## その他の最新情報

---

### 本部常設委員会に Young Member の追加枠

AIPPI では、会員の皆様の参加を促す方法をたえず模索しており、その一環として、本部の常設委員会に Young Member (36 歳以下) の追加枠を設けます。今後、Young Member であることを条件として、いずれかの常設委員会で追加の委員 1 名が選任されます。

[続きを読む](#)

### 2021 年の Annual Report

2021 年の Annual Report (年次報告書) ができました。昨年の成果、行事、財務状況などに関する情報を [こちら](#) からご覧になれます。

### 今後の行事

---

## SCAN THE GLOBE Webinar Series

### ウェビナー・シリーズ「SCAN THE GLOBE」

Nazli Korkut Ozsoy - First Deputy Secretary General

SCAN THE GLOBE は、AIPPI 創立 125 周年記念の活動の一環として開催するウェビナーで、少なくとも 2 回の異なるウェビナーを、2022 年から 2023 年にかけて行う予定です。これらのウェビナーは、世界各国における知的財産に関する法律および運用、特にあまり知られていない法域や地域における動向についての情報を紹介するとともに、最近の訴訟事件における法律の実施や、権利化手続における判断がその後の権利行使に及ぼし得る影響について説明することを目的としています。

[続きを読む](#)

[Register](#)



### 2022 年 AIPPI 国際総会の参加登録が始まりました

Joshua Goldberg - Chairperson of the Communications Committee

9 月にサンフランシスコにおいて対面で行われる記念すべき総会の参加登録が、先週から始まっています。今年の総会は、3 年ぶりに対面で行われるだけでなく、創立 125 周年を記念する行事のグランドフィナーレという意味でも特別です。この素晴らしい再会のチャンスをお見逃しなく。

[続きを読む](#)

[Register](#)

©2022 AIPPI. All Rights Reserved  
Tödistrasse 16, 8002 Zürich, Switzerland

免責事項：

AIPPI は伝達する情報の正確性を期すべくあらゆる努力をしていますが、これらの情報は、特定の資格を有する専門家の助言に代わるものとみなされるものではありません。AIPPI は、インタビューで表明された意見やウェブの外部リンクを介して提供される情報に対しては一切責任を負いません。